

### 海外や国内、新しいものや古いものから厳選した文房具を ソライロ文具店

今回は桜台の住宅街の中にあり、店名の由来である鮮やかな水色の壁面が特徴の一軒家(自宅)にお店を構えるソライロ文具店を紹介します。取材に応じていただいたのは、創業者で店長の大塚靖子さんです。



大塚さんは、以前から古いものが好きで、ある時、知人の実家の文房具店が閉店することを知り、その文房具をもったいないからと引き取ったことがソライロ文具店開店のきっかけとなったそうです。



内装を全て自分たちで手掛けたという店内は、落ち着いた雰囲気の中、文房具がところ狭しと並んでいます。

さまざまな文房具店を回り、今や一点ものとなった古文具をそろえているそうで、お客さんから「懐かしい」という声がよく聞かれるそうです。

また「意外にも小学生の女子にレトロなものの人気があるんですよ」と教えてもらいました。

コロナ禍の自粛期間中に「素敵なものを使って自宅で充実した生活を過ごすお手伝いをしたい」との思いから、台所・生活道具を販売するソライロ道具店を4月からオンラインストアとしてオープンしています。



今後については「あまり手を広げすぎないようにはしたいのですが、最近だと、特色インクに対する人気があるので、インクを調合して自分だけの色を作ってペンにするワークショップなどを開催したいです」と話してくれました。

皆さんも青空のような、かわいらしいお店で素敵な生活の道具を揃えてみませんか。

〒産業振興課 ☎401-4641、ソライロ文具店 ☎419-8617



詳しい取材内容などは地域情報サイト「まいぷれ」に掲載中 ▶